



<188>

確定拠出年金を身近に

未来貯金は、確定拠出年金(DC)加入者への情報提供などを展開している。スマートフォンアプリ「みらいナビ」は、残高確認や金融商品の情報発信で投資意識の向上を図る。百五銀行では個人型確定拠出年金(iDeCo)加入者向けに採用している。板山康男代表取締役社長(57)に事業内容と金融機関への要望を聞いた。

未来貯金

代表取締役社長

板山 康男氏

「みらいナビ」を組み合わせた理想的な運用方法を自動で助言する。さらに、チャット相談や金融商品の情報発信で、利用者のおり、スマホで簡単に問題解決を支援している。これにより、金融リテラシーが向上し、DC制度をさらに有効活用できるようになる。

「アプリ利用者に残高確認や、DC制度をさらに有効活用できるようになる。また、ユーザー設定で運用益の通知し、利益を可視化することで運用を促進する」

「利用者への情報発信とは、金融機関に対しては、アプリで年齢や投資状況、ニーズに応じた関取引先の企業型DC

いたやま・やすお 大分県出身、57歳。1983年神戸大経卒、日本生命保険、東京海上日動火災保険を経て2013年に同社を設立し現職。

金融機関と連携促進

「DC加入者のフォローで連携を加速していきたい。現在のDC制度は、加入時に営業店などで金融商品の説明や運用の助言ができない。そのため、加入者は貯蓄志向が強く、投資意識が薄い人が多い。同アプリで加入後の運用に興味を持ってもらい、よりよい将来設計を手助けしたい」

「DC加入者のフォローで連携を加速していきたい。現在のDC制度は、加入時に営業店などで金融商品の説明や運用の助言ができない。そのため、加入者は貯蓄志向が強く、投資意識が薄い人が多い。同アプリで加入後の運用に興味を持ってもらい、よりよい将来設計を手助けしたい」

(聞き手) 辻野 路人